

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立大野小学校(兵庫県)【指定校】

## 【取組内容】 保護者も教員もDX化で業務改善へ！

【概要】今年度、授業改善と合わせてDX化における業務改善に取り組んでいます。1秒でも長く児童と向き合う時間を確保するために汎用的アプリを用いた取組を2例紹介します。

## まとめるだけでも大助かり！Googleサイトの活用

## 生成AI×汎用アプリで児童の声を聞く



職員がよく使うリンクの一覧をGoogle Sitesにまとめて共有



当面の予定や学校だより等、保護者や地域に向けた情報をGoogle Sitesで発信している。

「あれ？あのサイトどうやって行けばいいんだっけ？」「〇〇先生、デジタル教科書って…」という悩み事に対応するため、先生たちがよく使うサイトをGoogleサイトでまとめました。保護者の方には大野小学校サイト「せんだんの木」をお伝えし、今後の予定や学校だよりなどにアクセスしてもらいやすくなりました。

また、児童の声を聞くために「せんせいあのねフォーム」を導入しました。回答があった場合、指定アドレスにメールが送信されます。自動化のコードは生成AIを活用し作成しました。

「せんせい あのね」フォーム

おはなしたいひと・おはなしをきいてほしいひとは、フォームからおくってね。

アカウントを切り替える

共有なし

\* 必須の質問です

学年 \*

選択

なまえ \*

回答を入力

はなしたいこと \*

回答を入力

きいてほしいひと \*

☐ たんにんのせんせい

☐ ほけんしつのせんせい

☐ こうちょうせんせい

☐ きょうとうせんせい

☐ スクールカウンセラーのせんせい

☐ その他: \_\_\_\_\_

送信

フォームをクリア